～　進路について考えることとは、自分の生き方について考えること
　　将来、どのように社会とかかわっていきたいかについて考えること　～

愛知県立新川高等学校長　渡邉　紳太郎

４月３日に着任した渡邉紳太郎（わたなべ　しんたろう）です。
昨年度まで、４年間知多半島にある愛知県立東浦高等学校の教頭として勤務していました。この尾北地区でつとめるのは、初めてのこととなります。よろしくお願いします。

４月に初めて新川高校に来た時、出迎えてくれたのは、近門近くの校碑「つちかい　かがやけ」後方の満開の桜でした。見事に咲き誇り、とても良い気持ちになりました。

行内では、部活動に熱心に取り組む生徒たちの明るく元気な声。
校舎の周りにも、中庭にも、季節を彩る花々。

新川高校は、とても素敵な学校です。
そんな学校で、生徒たちや先生方と教育活動に従事できることがうれしくてたまりません。

冒頭の言葉　「進路について考えることは、自分の生き方について考えること、将来どのように社会とかかわっていくかについて考えること」は、４月３日の着任式の時に、新２・３年生に話した時のものです。

新川高校の生徒のほとんどが、大学を含む上級学校への進学を希望しています。そこで、生徒の皆さんに考えてほしいことが、冒頭の言葉です。

なんのために上級学校に進学し学ぶのか。

それは自分の生き方を実現するためであり、社会とかかわっていくうえで、必要な知識・技術を身につけ、活かすためだと思います。

高校での学びが、将来とどのように結びついているか考えながら日々の学校生活を送ってほしいものです。

これからも、生徒たちはもちろん、保護者の皆様、地域の方々に愛される学校、夢と希望がかなう魅力的な学校として、さらに飛躍できるよう日々の教育活動に取り組んでまいります。

よろしくお願いします。